

青丘文庫研究会 - 第9回映像を通して見る - まだ視ぬアーカイブを可視化する! 没後22年映像作家 辛基秀の足跡を追う!



『江戸時代の朝鮮通信使』 1979年

★11月 8日 (金) 13:00～

『解放の日まで 在日朝鮮人の足跡』(1980年/210分/16mm)

トーク: 飛田雄一(青丘文庫研究会共同代表)

★11月 9日 (土) 13:00～

『解放の日まで 在日朝鮮人の足跡』(1980年/210分/16mm)

トーク: 飛田雄一(青丘文庫研究会共同代表)※前日の録画を上映

★11月10日 (日) 13:00～

『奈良県での朝鮮人強制連行』(1993年/32分/DVD/製作:田中寛治)

トーク: 田中寛治(映像作家) 川瀬俊治(天理・柳本飛行場を考える会共同代表)

『タチソ(高槻地下倉庫)作戦 成合地下トンネル』(1984年/34分/16mm)

トーク※2019年4月14日撮影の録画: 故・塚崎昌之(在日朝鮮人研究者)

『江戸時代の朝鮮通信使』(1979年/48分/16mm)

※リモートでのトーク: 山口祐香(神戸大学国際協力研究科 特命助教)

【場所】神戸映画資料館 神戸市長田区腕塚町5丁目5番1-201 アスタくにつか1番館北棟2F

【電話】078-754-8039 【E-mail】info@kobe-eiga.net

【料金】2,000円 ユース(25歳以下)1,500円 障がい者1,000円

※どなたでもご参加いただけます! ※ご予約をお願いいたします!



主催: 青丘文庫研究会

kobe 神戸映画資料館
KOBÉ PLANET FILM ARCHIVE



■青丘文庫研究会と神戸映画資料館の共催による《映像を通して見るーまだ視ぬアーカイブを可視化する！》は、2018年10月18日、神戸映画資料館を皮切りに、六甲の旧神戸学生青年センターや大阪・生野区のKCC会館を経て、再び新長田の地へと戻ってきました。神戸映画資料館は所蔵フィルムが2万本を超える国内最大規模の民間のアーカイブ機関ですが、併設のミニシアターは38席しかありませんので、事前にご予約をお願い申し上げます。

■今回は、70年代から90年代にかけて、歴史研究家、民族活動家、そして映像作家として幅広く活躍した辛基秀の軌跡とその遺産である映像アーカイブに焦点を当て、大作ゆえに上映の機会が少なかった『解放の日までー在日朝鮮人の足跡』などの上映を通じて、アーカイブの重要性や上映運動の時代背景について考察したいと思います。ご遺族の協力のもと、神戸映画資料館が所蔵する貴重なフィルムでの上映になります。また、8日、9日には飛田雄一さんに当時の上映運動の様子や辛基秀への思いを語っていただきます。(9日は前日の録画)

■10日には、90年代に製作された貴重な一世の証言が記録された『奈良県での朝鮮人強制連行』も上映いたします。その撮影・製作を担当され辛基秀とも親交があった田中寛治さん、そして川瀬俊治さんをお迎えします。さらに、昨年9月に急逝された塚崎昌之さんが解説された映像と共に『タチソ作戦 成合地下トンネル』も上映いたします。また、『江戸時代の朝鮮通信使』を上映し、研究者の山口祐香さんもリモートで参加されます。

■今回の上映会において、70年代から90年代、辛基秀や多くの人々が築き上げた日本と朝鮮に関する歴史研究や映像アーカイブや貴重な一世の証言を、世代を超えて共有できることを願っています。また、2000年代以降の韓流ブームの一方で、ヘイトスピーチや嫌韓本など、排外主義の台頭や徴用工の裁判などで揺れる政治状況において、国家間の対立ではなく、市民レベルでの友好や連帯を、かつての朝鮮通信使が具現した「誠信之交隣」の精神を発掘した辛基秀に学び、次世代へと、未来へと繋ぎたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

■「解放の日まで 在日朝鮮人の足跡」(1980/210分/16mm)

原案・構成：辛基秀 撮影：高岩仁 編集：辛島一 録音：佐々木昌彦 音楽：関口孝 ナレーター：伊藤惣一
指導：朴慶植 企画・制作：青丘文化ホール(代表・辛基秀) 製作会社：労働映画社

新潟県中津川水力発電所工事場における朝鮮人労働者虐殺事件、岸和田紡績工場における朝鮮人・日本人紡績女工の共同闘争、愛知県三信鉄道工事場争議、九州筑豊麻生炭坑の労働争議など、日本の植民地から解放に至る解放運動の一翼を担った多くの人々を捜し出し、その貴重な証言を集めた。辛基秀が生涯をかけて集めた映像資料を駆使して戦前の在日朝鮮人の足跡を描いた大作。

■「タチソ(高槻地下倉庫)作戦 成合地下トンネル」(1984/34分/16mm)

製作：映像文化協会 監督：辛基秀 撮影：高岩仁

戦時中、高槻市成合の山間部に掘削された高槻地下倉庫(軍の暗号でタチソ)の建設にあたって多くの朝鮮人労働者が危険な仕事に従事した。その実態を資料に基づき描いた作品。上映の機会が少なく必見。

■「江戸時代の朝鮮通信使」(1979/48分/16mm)

プロデューサー：辛基秀 シナリオ：滝沢林三、辛基秀 監督：滝沢林三 撮影：高岩仁 撮影助手：清水良雄 音楽：高橋悠治 演奏：ヴァン・ドリアン 語り手：西村晃 タイトル：富永浩一 現像：東映化学工業 録音：大平スタジオ ネガ編集：創映社 製作協力：東京シネアート 企画・制作：映像文化協会

江戸時代の絢爛豪華な朝鮮通信使の歴史的意義と、その華やかな文化交流の事実、映画史上初めてスポットを当てた記念碑的作品。辛基秀が私費を投じて収集した朝鮮通信使資料の他、全国に点在する絵巻や屏風絵などを総動員して日朝の平和友好の歴史を描く。

【ご予約→】 神戸映画資料館 078-754-8039 info@kobe-eiga.net
【お問合せ】 090-3622-3730 (キム) hida@ksyc.jp (青丘文庫研究会)